

ISSN1881-7017

# KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2010/2011

九州大学附属図書館年報 2010/2011

# CONTENTS もくじ

Topics .....	3
展示会・講演会 .....	7
国際交流 .....	10
利用説明会・講習会 .....	11
新規コレクション／九州大学学術情報リポジトリ(QIR) ..	12
研究開発室 .....	13
職員研修 .....	14
統計 .....	15
附属図書館の組織 .....	21
人事異動 .....	23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映 ..	24
図書館日誌 .....	25



附属図書館長  
川本 芳昭

## ライブラリーサイエンス専攻と 教材開発センター

さる3月11日の震災で亡くなられた方々に深い哀悼の念を表しますとともに、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。九州大学では、全学をあげての支援に取り組んでおりますが、本館でも関東・東北地方の大学に在学中、あるいは入学予定の方々に、緊急帰省等、福岡県(近隣)に滞在せざるをえなくなった方々などを対象に、本学学生と同等のサービスを利用できるようにいたしました。図書館として今日の事態に対し出来ることには限りがありますが、そのような中にあっても支援の気持ちを懐きつつ、日々の業務に従事することが必要であると思っております。

さて、九州大学図書館では、昨年度、将来の大学図書館のあり方を模索する中で、これまで本館が主体となって取り組んできた種々の計画が形あるものとして実現致しました。まず、述べるべきことは、高度な知識に裏付けられた図書館専門職の養成を目指す大学院ライブラリーサイエンス専攻の設立が認可され、この4月より大学院教育(修士課程)が開始されたことです。本専攻のひとつの特徴として特記すべきは、図書館職員が、設置審の審査をへて、職員の身分を保持したまま、教員の身分をも併せ持つ形で参加していることです。明治以来、大学における組織構成は、教員と事務職員とが截然と区別され、それらによって、大学における教育・研究が遂行されてきました。今回の試みはそのあり方と相違するものです。アメリカの大学などの状況を踏まえ、研究・教育を担う第3の職種としてのアドミニストレーターの設置を目指す動きが、現在急速に高まってきておりますが、今回のライブラリーサイエンス専攻における動きは、それと連動しうる可能性をもっているともいえます。

また、本学図書館ではこの4月より教材開発センターを図書館付置の組織として立ち上げました。これはICTを活用し新たな教材を開発、その公開を目指す組織です。こうした試みはこれまでもありましたが、今後はそれを担う組織を通じて実施して行こうとするものです。この試みが軌道に乗れば、教育実践のあり方に飛躍的な変化が生じるものと想定されます。また、高品質な教材の公開は開かれた大学としての社会的責任を果たすことにつながり、ひいては世界に通じる大学教育制度の構築にも寄与するものとなるでしょう。

このほかにも本館は昨年度、本学建学百周年事業の一環として、学内の貴重な文物を紹介する書物『九州大学百年の宝物』刊行の中心的な役割を果たし、また、九州地区の大学図書館とともに学生の本への関心を高めるための活動である「Library Lovers' キャンペーン」を実施し、貴重な成果を上げることができました。そうしたなかにあつて、国文学研究資料館との交流協定の締結は特記すべき事柄といえましょう。本協定は、両館の所有する貴重文物の相互貸出などを目的としたものですが、将来的には職員相互の交流にも繋がる可能性を持っており、従来の図書館どうしの協定といった枠を乗り越えた展開が望まれるところです。

今後とも変わらぬ皆様の温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

# Topics

## 国文学研究資料館と学術交流協定を締結

22年12月17日、附属図書館と人間文化研究機構国文学研究資料館との間で、学術交流協定を締結しました。

この協定は、両機関における研究及び教育の交流を促進するため、展示・講演、研究者等の交流、学術情報及び資料の交換等において、相互に連携を図ることを目的としています。調印式では、今西祐一郎国文学研究資料館長(九州大学名誉教授)と川本芳昭附属図書館長による挨拶の後、協定書への調印が行われ、今後の両館の協力を確認しました。

日本文学及び関連資料の専門的な調査研究、収集・保存・提供を行う国文学研究資料館と、国文学関連の資料を数多く有しデジタル化・公開を進める附属図書館が連携協力することは、関連分野の研究に資するとともに、展示・講演会等を通じた社会への還元がより一層進むものと期待されます。

連携協力の第1弾として、国文学研究資料館で開催された新収資料展「物語そして歴史—平安から中世へ—」(会期:23年1月24日~3月18日)において、国文学研究資料館所蔵の稀書奈良絵本「うつほ物語絵巻」(全5巻)と九州大学附属図書館細川文庫所蔵の「うつほ物語絵巻」が比較展示されました。



協定書を手にする今西国文学研究資料館長(左)と川本附属図書館長

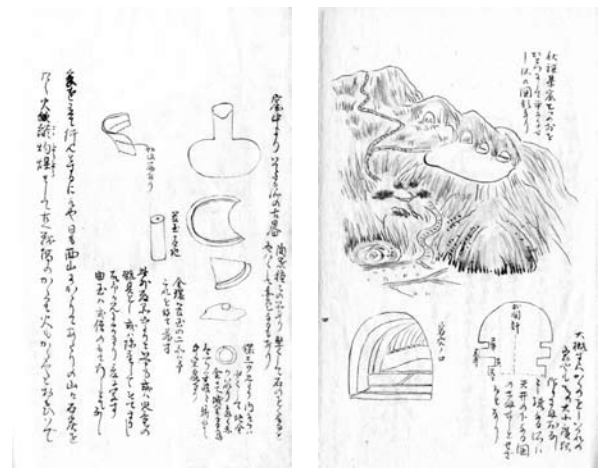
## 『九州大学百年の宝物』の刊行

23年、九州大学は創立百周年を迎えました。この百年の間、各部局において蒐集されてきた研究資料・図書・標本・芸術作品等、多様でユニークなコレクションを、大学全体の貴重な財産として適切に保存し、後世に伝えると同時に、広く社会に対して情報を発信・活用すべく、『九州大学百年の宝物』を発行し、附属図書館が企画・編集を担当しました。

掲載された百点の宝物は、一つ一つが九州大学の研究・教育の歩みを反映するものであると同時に、貴重な資料の蒐集、保存に尽力された学内外の多くの方々の尊い意志を示すものでもあります。『九州大学百年の宝物』は、九州大学の学術研究の歴史とそれを担った先人の意志を感じられるものとなりました。



約9500万年前のアンモナイト (松本達郎コレクションより)



「秋のかり塚(嘉麻郡紀行)」 (嘉麻郡の寺社調査の際の紀行文、『江藤正澄雑纂』より)

## Library Lovers' キャンペーン

平成22年度の国立大学図書館協会地区助成事業として、九州地区の国立大学図書館等全30館合同で「Library Lovers'キャンペーン」を実施しました。これは、22年が国民読書年であることから、秋の読書週間(10/27-11/9)を「Library Lovers' Week」と名づけ、本や知識、感動との「出会いの場」である図書館をアピールし、学生に図書館の存在を再認識してもらうことを目的としたキャンペーンです。

九州大学附属図書館では、参加館合同の「オススの1冊」学生コンテストのほか、本学のオリジナル企画として以下のイベントを実施しました。

- ・LLW貸出特典:3回借りてプチHappy
- ・きょうとくんを探せ! 図書館スタンプラリー
- ・図書館を駆使せよ! ~調べ物達人への道~ [クイズ]
- ・豆本づくりワークショップ
- ・図書館職員のお仕事紹介 ~Voice~ [展示]
- ・図書館員の本棚 [展示]
- ・Book Lovers ~資料を長く保存するために~ [展示]

いずれも本や図書館、そして図書館職員を身近に感じてもらうよう企画したもので、期間中(10/29~11/9)は、図書館職員全員でお揃いの特製名札をつけ、全館でキャンペーンを盛り上げました。また、11月11日には、「オススの1冊」学生コンテストの人気投票で学内トップ5に選ばれた方に図書カード贈呈式と、館長との懇談会を行ないました。

各種イベントをきっかけに利用者の声を聞くことができ、職員にとっても学生と親しむ機会となりました。



学生コンテスト上位入賞作品の展示



豆本作りワークショップ



館長との懇談会

## システムによるユーザーサービスの拡充

図書館では、電子コンテンツへのアクセスや図書館施設を利用しやすくするためのシステム整備を進めています。22年度は、以下の活動を行い、図書館機能の高度化を図りました。

### ◆Shibboleth 認証サービスの拡充

図書館サービスや本学で提供される電子コンテンツの利用は、キャンパス内からだけでなく、自宅、出張先、移動中などにも広がってきています。こうしたニーズに対応するため、本学ではShibbolethによるシングルサインオンを導入しており、本年度は国立情報学研究所の学術認証フェデレーション(学認:GakuNin)への正式参加により、電子ジャーナルなど商用の学術情報サービスでのシングルサインオン化を推進しました。

### ◆電子ブックのアクセス機能向上

本学で契約する電子ブック約33,000タイトルの書誌データをきょうとOPACへ登録し、冊子所蔵資料と電子ジャーナル、電子ブックを同一のプラットフォームから検索/アクセス可能にしました。

### ◆ゲストアカウントの発行開始

教職員や学外からの来館利用者が、電子コンテンツを利用しやすくするために、中央図書館、医学図書館、伊都図書館へ設置されたiMac(約230台)を利用できるゲストアカウントの発行を開始しました。

### ◆Web 施設予約による利用増加

各図書館の演習室/グループ学習室のWeb・携帯電話からの予約サービスを開始しました。これによって中央図書館での利用件数が前年度比1.5倍(2,800件超)となるなど、利用が大幅に増加しました。

# Topics

## 雅俗文庫(中野三敏名誉教授旧蔵書)の受入

「雅俗文庫」とは、江戸文学・書誌学研究の第一人者として今も第一線で活躍する、文化功労者である中野三敏氏(九州大学名誉教授(文学部))が蒐集した江戸期和装本を中心とするコレクションです。

文庫の名称には、中野氏が長年主張してこられた江戸文化観のキーワードである「雅俗」が用いられています。

「雅」=伝統文化(和歌・漢詩・擬古文等)

「俗」=新興文化(俳諧・川柳・小説等)

これまで江戸文学では「俗」の方ばかりが目立ってきましたが、中野

氏は雅俗両文化はそれぞれの重みを持って共存していたとし、それらが融和した状態こそ江戸文学の神髄と考え、本文庫も雅俗双方にわたる広範なジャンルの資料で構成されています。

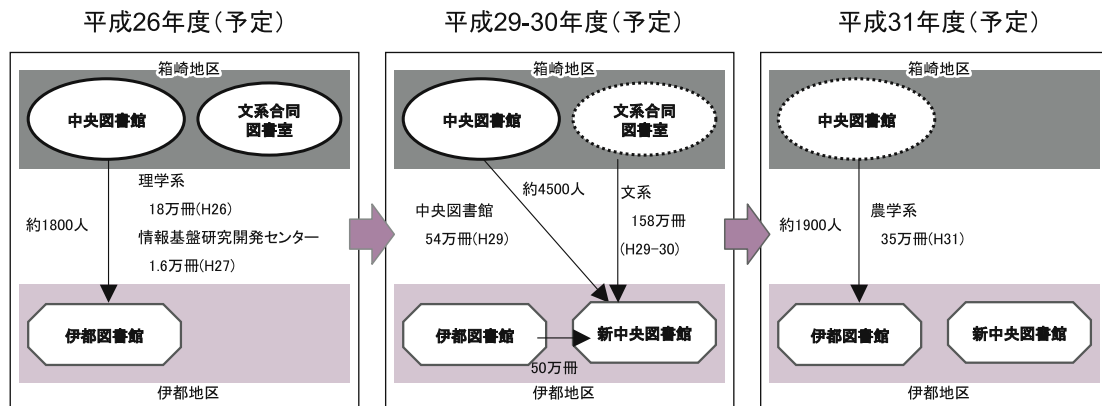
附属図書館は本文庫の漢詩文や絵本を中心とする資料約600点(約1,000冊)を購入し、22年度から本格的な調査・整理を始めました。人文科学研究院の教員・大学院生とともに書誌情報の採取・データ入力作業を実施し、資料保存の観点から適切な保管方法の検討を行いました。

今後も膨大な分量の資料が寄贈される予定です。

## キャンパス移転第Ⅲステージに向けた取り組みを開始

24年度からの九州大学統合移転第Ⅲステージでは、26年度の理学系移転、29-30年度の文系及び中央図書館移転、31年度の農学系移転

等が予定されています。附属図書館では、21年度に六本松地区の移転を終え、いよいよ第Ⅲステージの移転に向けての検討を開始しました。



統合移転第Ⅲステージにおける附属図書館の遷移

### ◆検討体制の整備

29年にオープンが予定されている中央(文系)図書館(仮称)(以下「新中央図書館」)は、現中央図書館、文系合同図書室および旧六本松図書館の蔵書を集約し、想定収蔵冊数約300万冊という国内最大規模の図書館となります。資料の移転も、第Ⅱステージまでの累積を超える規模となり、山積する様々な課題に対し慎重に検討を進めていかねばなりません。

移転対象部局等と連携してこのような困難を解決しながら移転計画を円滑に進めていくために、附属図書館商議委員会の下に関係部局や学内共同施設等の教員からなる「新中央(文系)図書館検討専門部会」を設置しました。

また、附属図書館事務部の検討体制として、新図書館推進室の下に、理学系移転に対応した2チーム(施設検討/資料移転)、新中央図書館に対応した2チーム(基本計画/施設検討/資料配置検討/移転準備)を組織し、検討を開始しました。今後、移転の進行に応じて、適宜チームを再編しながら準備を進めていきます。

### ◆新中央(文系)図書館基本計画検討ワーキンググループの設置

上記の専門部会の下に、ワーキンググループ(以下、「WG」)を設置し、新中央図書館の基本計画の検討を開始しました。

本WGは、移転対象部局及び全学共同施設の教員等11名からなり、22年度は、職員とのチームとの合同で14回のミーティングを行いました。従来の大学図書館の枠組みにとどまらず、学内の各部局等との連携も視野に入れて、新中央図書館が担うべき機能、求められる機能をできるだけ広く洗い出して検討を行い、基本コンセプトと基本機能から構成される基本計画第一次案をとりまとめたところです。ミーティングには、その回のテーマに関連した部署の担当者にも出席してもらい、現場での状況を踏まえながらワークショップ形式で活発に意見を交わしました。

今後、各部局からの意見を集約するとともに、利用者のニーズや利用動態の調査、各部局との調整、国内外の図書館の事例調査などを行い、基本計画第二次案として施設計画及び資料収蔵計画の検討を進めていきます。

## 大学院「ライブラリーサイエンス専攻」の設置

23年4月、九州大学大学院統合新領域学府の3つ目の専攻として、「ライブラリーサイエンス専攻」が開設されました。西日本地区の国立大学で初めての図書館関係の大学院専攻設置に、全国からも期待が寄せられています。

同専攻では、ユーザーの視点に立った情報の管理と提供を確保し、同

時に「知の創造と継承」を支えるあらたな「場」(これを「ライブラリー」と呼びます)を科学します。ここでは、ライブラリー＝図書館という固定観念を超えて、図書文献資料、文書記録資料(アーカイブス資料)等の別なく、統合された方法論にもとづき、情報管理・提供のあたらしいステージを開拓します。

### ◆附属図書館との強力な連携関係

同専攻では、附属図書館と密接に連携した教育研究を行うことを、大きな特徴のひとつに挙げています。

図書館職員が専攻の専任教員として参画するほか、図書館職員による授業サポート、授業の場としての図書館の活用、インターンシップの受け入れなど、図書館の現場と連携した教育を行っていきます。また、教育内容についても、図書館の課題を授業で取り上げたり、図書館をフィールドワークの場として活用していくことが想定されています。

附属図書館としても、同専攻を職員のリカレント教育の場と位置づけ、在職したまま修学が可能となるように就業制度の整備を行っています。

### ◆ライブラリーサイエンス専攻の教育理念

同専攻では、文系と理系の枠を超えて社会の変化に対応できる人材の育成を目指し、以下を教育理念として掲げています。

- \*ユーザーのニーズと知の創造・継承プロセスを把握するための理論や技能に関する教育
- \*図書館情報学と記録管理学を統合した一体教育
- \*情報の管理・提供を実現するための、データエンジニアリングを含む情報通信技術の教育
- \*電子媒体の情報も対象とした、情報法制の現状ならびにその哲学に関する教育と流通制度に関する教育
- \*これからの情報の管理・提供のあり方、知の創造・継承活動を支える「場」のあらたな機能などについて探求する能力を身につけさせる教育

## “IROMIZU”ART の設置

10月、芸術工学図書館に、“IROMIZU”ARTが設置されました。

これは、芸術工学図書館運営委員会の掲げた個性ある図書館づくりの一環として、3階の雑誌閲覧室に設置されたものです。(株)中川ケミカルの協力で、同社が開発した透明カットティングシートを、曲面に張り出したガラスブロックの壁面に貼ったもので、1日の間に微妙に変わる光を透過させて、美しく“はんなり”とした表情を見せています。

現在、その周りに色彩関係の本を集め、色彩に関する教育研究に活用できるようにしています。10月25日には、この設置を記念して芸術工学図書館セミナー「色彩」を開催しました(p.9参照)。



## 筑波大学図書館情報学類 インターンシップ学生の受入

8月、筑波大学図書館情報学類のインターンシップ学生を1名受け入れました。

研修は1日8時間、2週間にわたり、中央図書館において各業務の概要説明・体験を行うとともに、芸術工学図書館・伊都図書館での実習も実施

しました。

大学図書館の先進的なサービスや技術に実際に触れる貴重な機会となったのではないかと思います。

## 中学生の職場体験学習

実際に職場で仕事を体験することを通して将来の職業選択に役立てることを目的とした、中学生の職場体験学習を受け入れました。

【芸術工学図書館】

【学校】福岡市立那珂中学校2年生 2名

【期間】平成22年7月6日(火)～8日(木)

大学図書館の概略、図書館業務の流れの概要説明を行い、図書や雑誌の受付・装束等の業務、図書の貸出・返却等のカウンター業務、図書資料の配架整理・蔵書点検作業などの体験を行っていただきました。

初めてのことはばかりで担当者の説明に熱心に耳を傾け、3日間充実した体験ができたようです。

# 展示会・講演会 Exhibition & Seminar

## 開学記念展示 第51回附属図書館貴重文物展示 「桑木文庫に眠る星の世界 —東西の科学資料コレクションより—」

【期 間】平成22年5月10日(月)~17日(月)  
 【会 場】九州大学中央図書館 2階特設展示会場  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【来場者】509名

### ◆ 関連講演会

【日 時】平成22年5月15日(土) 14:00-15:30  
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール  
 【講演者】「果てしない宇宙の理解を目指して」  
 藤原智子(九州大学高等教育開発推進センター助教)  
 【来場者】101名

本展示会では、九州帝国大学工学部教授であった桑木或雄先生が収集したコレクションから、天文学に関する資料約50点を展示しました。また、会場には五藤光学研究所、北九州市立鞘ヶ谷小学校のご協力によりミニプラネタリウムを設営しました。

天文学がテーマということで非常に関心が高く、例年以上に幅広い年齢層、分野の方々が来場し、暦書や西洋から中国を経由して入ってきた天文学書を熱心に観ていました。展示資料の中でも「赤道南北恒星図」等の星図が特に来場者の注目を集めました。

江戸時代の天文学関係の資料は、桑木文庫のコレクションだけでその歴史を一望できるほど網羅されています。図書館としても今回の展示で



その学術的価値を再認識する機会となりました。

15日(土)には、藤原智子氏による講演会「果てしない宇宙の理解を目指して」を開催しました。西洋と東洋の天文学の歴史から、現代の最新の天文学まで、壮大なスケールの話、美しい画像とともに分かりやすくお話いただきました。また同日、展示会場にて中野多恵氏(九州工業大学理数教育支援センター助教)によるプラネタリウムの解説が行なわれ、講演会終了後には行列ができるほどの盛況ぶりでした。

## 知られざる北の国境「樺太と千島」移動展IN福岡

【期 間】平成22年10月22日(金)~11月4日(木)  
 【会 場】九州大学中央図書館 3階ロビー特設展示会場  
 【主 催】北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」  
 【共 催】九州大学韓国研究センター・九州大学附属図書館・北海道大学スラブ研究センター・北海道大学総合博物館

北海道大学スラブ研究センター・九州大学韓国研究センター共催「ボーダー研究シンポジウム」の関連展示として、パネル展示と、北緯50度線に設置された樺太国境標石(レプリカ)、北海道の根室と国後島の間に引かれた海底通信ケーブルを使用したインターホン等を展示しました。北の国境線の歴史を追体験する貴重な資料に、足を止めて展示資料に見入る利用者の姿が多く見られました。

## 九州大学創立百周年記念講演会「和本リテラシーの回復を願って」

【日 時】平成23年3月1日(火) 16:00-17:30  
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール  
 【主 催】九州大学  
 【企 画】箱崎文系地区協議会・九州大学附属図書館  
 【参加者】122名

創立百周年記念講演会の第一回目として、中央図書館視聴覚ホールにおいて、中野三敏名誉教授(22年度文化功労者)による「和本リテラシーの回復を願って」と題する講演が行われました。

講演では、江戸期の文化に対する世の中の見方の変遷や、日本の社会全体にとって、和本リテラシーの回復が必要なことなどについて語られ、学内外から会場を埋めた約120名の聴衆は、重みのある一言一言に耳を傾けました。

また、この講演に合わせ、附属図書館において、中野名誉教授が蒐集した江戸期和装本を中心としたコレクション「雅俗文庫」中30点の展覧を行いました(p.8参照)。



## シンポジウム「ライブラリーを科学する」

【日 時】平成22年12月18日(土) 13:00-17:15  
【場 所】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール  
【主 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス  
専攻設置準備委員会  
【共 催】九州大学附属図書館、九州大学大学文書館  
【後 援】西日本図書館学会、九州地区大学図書館協議会  
【参加者】161名

### 【プログラム】

13:00-13:05 開会の挨拶  
13:05-13:20 新専攻の紹介  
(第1部)記念講演  
13:20-14:10 講演1 「日本におけるアーカイブズの役割～九州大学ライブラリーサイエンス専攻に期待する～」  
高山正也氏(国立公文書館長)  
14:10-15:00 講演2 「図書館情報学の未来～九州大学の専攻に期待する～」  
植松貞夫氏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科長)  
(第2部)パネルディスカッション  
15:20-15:40 「専攻設置にあたって」九州大学総長 有川節夫  
15:40-17:10 パネルディスカッション  
パネリスト:高山正也氏、植松貞夫氏、倉田敬子氏(慶應義塾大学文学部教授)、三輪宗弘(九州大学記録資料館長)、富浦洋一(システム情報科学研究院准教授)  
進行:吉田素文(医学研究院教授)  
17:10-17:15 閉会挨拶

本シンポジウムは、23年4月に九州大学大学院統合新領域学府に新しく発足する「ライブラリーサイエンス専攻」の設置を記念して開催されました。

シンポジウムの第1部では、塩次喜代明学府長の挨拶ののち、まず新専攻の概要が紹介されました。続いて、国立公文書館長の高山正也氏、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科長の植松貞夫氏による講演が行われ、図書館情報学とアーカイブズ学の関係性や筑波大学を中心とした図書館情報学の変革の現況などから、新専攻の目指すべき方向が示唆されました。

第2部では、同専攻を構想した有川節夫総長が、学術情報基盤整備の観点から専攻開設の意義について語ったのち、パネルディスカッションが行われました。ここでは、講演者及び慶應義塾大学文学部の倉田敬子教授に専攻専任予定教員を加えた5名が、図書館情報学やアーカイブズ学の現状を整理し、未来を展望しながら、新専攻の課題について議論を交わしました。全国各地から集まった満員のフロアからも活発に意見や質問が出され、新専攻のこれからについて率直な意見交換がなされたことは、新専攻に対する期待の大きさをうかがわせるものでした。

## 常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、22年度は以下の展示を行いました。

### ●J.M. ケインズ書簡・著作・研究書コレクション (H22.4.1～6.6)

平成21年度に新規に受け入れた人文社会科学系大型図書資料、J.M.ケインズ書簡・著作・研究書コレクションから、ケインズ/ヴァイトゲンシュタインの自筆往復書簡・草稿などの書簡類のほか、彼の著作の初版本を展示しました。

### ●江崎文庫の生きものたち：江戸時代の博物誌 (H22.6.7～8.2)

九州帝国大学教授であった江崎悌三博士の旧蔵書で、動物学、植物学を中心としたコレクション「江崎文庫」から、江戸時代の和装本を中心に、日本の本草学の発展過程をたどりました。

### ●郡虎彦と白樺派：「白樺」創刊100周年を記念して (H22.8.3～9.27)

雑誌「白樺」の創刊100周年を記念して、当時、最年少の同人として「白樺」に参加した郡虎彦の旧蔵本と、白樺派の作家たちを紹介しました。

### ●BOOK Lovers：資料を長く利用するために (H22.10.1～11.30)

Library Lovers'キャンペーンの連動企画として、研究開発室「資料保存に関する調査研究」班により、実際に劣化してしまった資料とその原因、および図書館で行なっている資料修復と修理道具を紹介しました。

### ●韓国研究センター開設10周年記念展覧：次の10年への飛躍 (H22.12.15～H23.1.31)

九州大学韓国研究センター開設10周年を記念して、同センターの刊行物でその業績を振り返るとともに、日韓併合の経緯を物語る第一級の資料「伊藤博文の書」(旧前間家所蔵)および前間恭作の著作を展示しました。

### ●江戸/和本の海：「雅俗文庫」調査経過報告 (H23.2.15～3.31)

江戸文学・書誌学研究の第一人者であり、九州大学名誉教授(文学部)／文化功労者の中野三敏氏が蒐集した江戸期和装本(和本)を中心とするコレクション「雅俗文庫」を紹介しました。



「伊藤博文の書」



江戸/和本の海：「雅俗文庫」調査経過報告

# 展示会・講演会 Exhibition & Seminar

## 学術情報セミナー「図書館・情報サービスとユーザー～学術情報アクセスへの新たなアプローチ～」

【日 時】平成22年6月22日(火) 13:00～17:00  
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【後 援】九州地区大学図書館協議会、株式会社サンメディア  
 【参加者】92名

インターネット上で利用できる学術リソースが増え続ける中、今、図書館の持つリソースすべてを有効活用するための「ディスカバリーサービス」が注目されており、本セミナーでは、その「ディスカバリーサービス」の紹介と事例報告を通じて、学術情報アクセスへの新たなアプローチを提案しました。

九州地区の大学図書館関係者をはじめ、企業、教員、大学院生等90名

を超える例年の5割増の参加があり、ディスカバリーサービスにおける学術情報へのアプローチ手法やその構築方法、新サービスの具体的な導入プロセスと利用分析等に、高い関心を示していました。



### 【プログラム】

13:15-15:15 〈第1部 「みんなで学ぼう!ディスカバリーサービスって、なに?」〉  
 講演 「ディスカバリーサービス: Summonで図書館が変わる!」  
 後東玲子氏 (SerialsSolutions 日本/韓国マネージャー)  
 事例報告1 「琉球大学でのSerialsSolutions導入の経験」  
 大谷周平氏 (琉球大学附属図書館)  
 事例報告2 「ディスカバリインターフェース構築について」  
 井川友利子 (九州大学附属図書館利用支援課サービス企画係)、  
 越戸陽子 (九州大学医学図書館受入目録係)

15:30-16:30 〈第2部 「学術情報へのアクセス」〉  
 ○オックスフォード大学出版局 (OUP)  
 ○英国物理学会出版局 (IOPP) ○Nature  
 ○ProQuest ○ワイリー・ジャパン  
 16:00-16:50 〈第3部「e-Port アップデート」〉  
 ○RefWorks ○PierOnline  
 ○医中誌Web、JDreamII ○Faculty of 1000  
 17:00 閉会

## エルゼビア・オンラインセミナー「ニーズを“聞く”から“解決”へ 一次世代図書館の新たな取り組み」

【日 時】平成22年12月17日(金) 15:00-16:00  
 【会 場】九州大学医学図書館 館長室(インターネット配信)  
 【主 催】エルゼビア・ジャパン株式会社  
 【共 催】九州大学附属図書館  
 【参加者】43名(インターネット視聴)

エルゼビアでは、学術研究活動を取りまく環境の変化をテーマに "Scholarly Perspectives" というホームページを立ち上げ、21年から随時オンラインセミナー(ウェビナー)を開催しています。今回は九州大学がホストとなり、初めての日本語での開催となりました。

研究コミュニティの中心である研究者、さまざまな学術リソースを管理する図書館、出版および電子情報の提供でサポートするエルゼビア、それぞれ立場の違う三人のプレゼンテーションからなる報告が行われました。

インターネットによる配信で43名が視聴し、図書館、企業、教員等多くの関係者が、SciVerse Scopusの有効活用するための事例紹介、図書館で検討中の「ディスカバリーサービス」、ライブラリーサイエンス専攻の紹介やエルゼビアの新プラットフォームSciVerseの最新情報に高い関心を持って聞き入りました。

### 【プログラム】

15:00 SciVerse Scopus - 私の使い方  
 橋口公章助教(九州大学脳神経外科)  
 15:15 すべての図書館コンテンツを一つのプラットフォームに  
 工藤絵理子(九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係)  
 15:30 エルゼビアの新プラットフォーム SciVerse(サイバース)  
 大場郁子氏(エルゼビア・ジャパン株式会社)

## 芸術工学図書館セミナー「色彩」

【日 時】平成22年10月25日(月) 15:00-17:30  
 【会 場】芸術工学図書館3階研究セミナー室  
 【講演者】「色彩入門」  
 須長正治(芸術工学研究院デザイン人間科学部門助教)  
 「九州大学伊都キャンパスの色彩計画とアート」  
 佐藤 優(芸術工学図書館長、新キャンパス計画専門員会パブリックスペースWG長)  
 【来場者】30名

本セミナーは、芸術工学図書館3階に設置された、透明カラーシートを活用した「IROMIZU」ARTのお披露目を兼ねて行われたものです。

「色彩入門」では、色を知覚するしくみや色を伝達するためのさまざまな方法についての解説が行われ、「九州大学伊都キャンパスの色彩計画とアート」では、パブリックスペースデザインマニュアルの策定の経緯の説明と、新キャンパスのアートワークの取り組みや、アート依頼時・設置時のエピソードが紹介されました。

## 海外研修

### ◆ IFLA 年次大会へ職員を派遣

スウェーデンで開催された第76回IFLA(国際図書館連盟)年次大会へ職員を派遣しました。大会ではオープンアクセスの国際動向に関するセッションを中心に幅広く情報収集を行いました。さらに、大会終了後は約2週間にわたってスウェーデンおよびデンマークの先進的な図書館を訪問し、優れた図書館建築や空間設計を見学するとともに、情報リテラシー教育など今後図書館が果たすべき役割について意見を交換しました。

【訪問者】兵藤健志(附属図書館eリソースサービス室eリソースサポート係)

【訪問期間】平成22年8月5日～8月27日

【訪問先】スウェーデンおよびデンマーク

【目的】IFLA年次大会への参加による情報収集  
大学図書館および公共図書館への調査訪問



### ◆ 九州大学職員海外研修プログラム (アテネオ・デ・マニラ大学)

フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学における2ヶ月間の海外研修に、図書館職員が参加しました。語学力の向上や国際感覚の醸成のための英語研修に加え、業務遂行能力養成のための実務研修も加えた、本学事務系職員を対象としたプログラムです。

研修では、プレゼンテーションや論文執筆の基礎などを含む実践的な英語集中研修の後、大学図書館において各部署を訪問し、オリエンテーションとともに意見交換・実務体験を行いました。なかでも約1年前に開館したばかりの新図書館に関しては、館内見学を通して設計・移転計画・サービスの見直しなどの貴重な情報を得ました。

【研修者】越戸 陽子(医学図書館受入目録係)

【研修期間】平成23年1月10日～2月25日

【研修先】アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)

語学研修施設(ALLC: Ateneo Language Learning Center)および大学図書館(Rizal Library)

【研修内容】●6週間の英語集中研修

●大学図書館の各部署の訪問、実務体験(マーケティング・レファレンス・特別コレクション・マイクロフィルムの作成・資料保存・受入・目録・閲覧など)

●新図書館(2009年12月に開館)についての情報収集

## 交流協定図書館との資料交換(平成22年度)

九州大学→ソウル大学校 教員寄贈図書2冊を寄贈  
九州大学出版会図書40冊を寄贈  
九州大学→慶北大学校 九州大学発行の紀要17冊を寄贈

ソウル大学校→九州大学 ソウル大学校出版会図書54冊を受贈  
ソウル大学校奎章閣図書22冊を受贈

## 海外との往来

### 一往訪一

【訪問者】渡邊由紀子(附属図書館eリソースサービス室)

【日程】平成22年4月18日～24日

【訪問先】シカゴ(アメリカ合衆国)

【目的】国際図書館コンソーシアム連合(ICOLC: International Coalition of Library Consortia)2010年春季会合に参加

【訪問者】兵藤 健志(附属図書館eリソースサービス室eリソースサポート係)

【日程】平成22年8月5日～8月27日

【訪問先】上掲の通り

【目的】

【訪問者】片岡 真(情報システム部 情報基盤グループ(デジタルライブラリ担当))

【日程】平成22年11月1日～8日

【訪問先】アメリカ合衆国

Renaissance Atlanta Waverly Hotel、ノースウェスタン大学

【目的】Internet2 2010 Fall Member MeetingおよびInCommon Library Member Meetingへの参加

【訪問者】越戸 陽子(医学図書館受入目録係)

【日程】平成23年1月10日～2月25日

【訪問先】上掲の通り

【目的】

【訪問者】馬場 謙介(研究開発室准教授)

南 俊朗(研究開発室特別研究員)

兵藤 健志(附属図書館eリソースサービス室eリソースサポート係)

工藤絵理子(附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係)

大田 海(附属図書館利用支援課文献流通サービス係)

【日程】平成23年3月22日～25日

【訪問先】韓国

釜山大学校図書館、ソウル大学校図書館、延世大学校図書館、明知大学校図書館、国立中央図書館、国立デジタル図書館

【目的】ICTを活用した図書館サービスの実態、オープンアクセスの実態(機関リポジトリ・資料電子化)およびILL/eDDSシステムの運用状況に関する調査

# 利用説明会・講習会 Library Workshops

利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。22年度は、eリソース連携チームの協力体制により、各キャンパスの状況に適切に

対応しながら、新たな企画に取り組むなど、拡充を進めることができました。今後もこの体制のもと、利用者のニーズに合わせた講習会を企画・実施し、学習・教育支援、研究支援を進めていきます。

## ●利用説明会

図書館側で日程・内容を設定し、利用者に呼びかけて行うもので、提供元による特定データベースの詳細な説明を行う方法を多く取り入れています。22年度は、利用者がより参加しやすい形式としてWebによる講習会を多数採用したことなどにより、実施回数、参加人数とも昨年度より増加しました。

内容	講師	形式	回数	人数
Cinii	図書館職員	on site	4	88
Scopus	提供元	on site	6	115
日経Needs	提供元	on site	1	23
Web of Science(前期)	提供元	web	9	135
PubMed(前期)	提供元	on site	1	37
SciFinder	提供元	on site	9	92
RefWorks(前期)	提供元	web	6	225
RefAware	提供元	web	1	11
Reaxys	提供元	on site	4	67
PubMed(後期)	図書館職員	on site	5	62
医中誌Web	提供元	on site	2	28
JDreamII	提供元	on site	5	32
RefWorks(後期)	提供元	on site	6	58
Web of Science(後期)	提供元	web	9	108
計			<b>68</b>	<b>1,081</b>

## ●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程・内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うものです。ほとんどが授業の一環として行われており、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。同じゼミや授業科目からの継続的な依頼だけでなく、数理学研究院、工学部建築学科、21世紀プログラムなど、新たな分野からの申し込みも増えてきています。また、法学部では留学生を対象とした講習会も実施しました。

対象	回数	人数
法学部・学府	4	40
経済学部・学府	8	202
医学部	6	165
歯学部	1	8
理学部	2	14
数理学研究院	1	35
工学部	2	61
農学部	1	22
21世紀プログラム	1	13
記録資料館	3	30
全学教育	2	170
計	<b>31</b>	<b>760</b>

## ●新入生図書館ガイダンス

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間などを使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、18年度から実施しています。22年度は、従来の「図書館の紹介」、「図書や雑誌の探し方(実習)」、「館内ツアー」に、新たに「情報の利用倫理」を追加し、内容・構成をリニューアルしました。また、広報活動の強化により、多くの教員から採用され、前年度より517名増、約1.3倍の受講者数となりました。

対象	回数	人数
文学部	10	162
教育学部	1	56
法学部	4	182
経済学部	7	131
理学部	7	260
医学部	4	262
歯学部	1	54
工学部	8	497
農学部	6	234
芸術工学部	5	205
数理学府	1	75
計	<b>54</b>	<b>2,118</b>

## 平成22(2010)年度実績

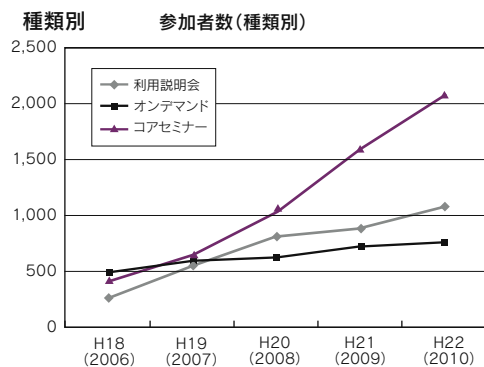
### 種類別

会場	利用説明会		オンデマンド講習会		コアセミナー		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎	12	210	20	369	34	965	<b>66</b>	<b>1,544</b>
伊都	9	82	4	218	10	632	<b>23</b>	<b>932</b>
病院	10	183	7	173	5	316	<b>22</b>	<b>672</b>
大橋	6	64	0	0	5	205	<b>11</b>	<b>269</b>
筑紫	6	63	0	0	0	0	<b>6</b>	<b>63</b>
Web	25	479					<b>25</b>	<b>479</b>
計	<b>68</b>	<b>1,081</b>	<b>31</b>	<b>760</b>	<b>54</b>	<b>2,118</b>	<b>153</b>	<b>3,959</b>

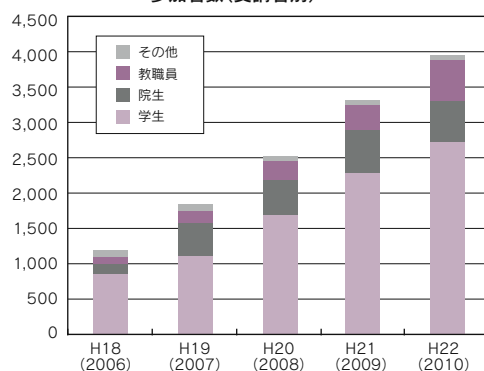
### 受講者別

会場	教職員	院生	学生	学内その他	学外者	計
箱崎	51	167	1,291	15	20	<b>1,544</b>
伊都	63	106	758	5	0	<b>932</b>
病院	75	108	472	11	8	<b>674</b>
大橋	17	24	225	1	0	<b>267</b>
筑紫	17	41	4	1	0	<b>63</b>
Web	307	132	18	22	0	<b>479</b>
総計	<b>530</b>	<b>578</b>	<b>2,768</b>	<b>55</b>	<b>28</b>	<b>3,959</b>

## 参加者数の推移



### 受講者別 参加者数(受講者別)



## 新規コレクション

### ◆大型図書資料

人文社会科学分野の研究資料の充実のため、大型図書資料として以下の3点を購入しました。

#### ●ドイツ民事訴訟法関連貴重書コレクション

16世紀から19世紀にかけて刊行されたドイツ民事訴訟法に関する文献のコレクション。ハノーファー高等控訴裁判長等を歴任したフォン・シュトラレーンハイム(1777-1847)が収集した個人蔵書を中心とする251冊からなる。

#### ●English Drama Web版

イギリスの韻文劇・散文劇の全文データベース。13世紀末から19世紀末までの、500名以上の作家による2,000を超える韻文劇と400名以上の作家による1,800を超える散文劇を収録している。

#### ●ジョーンズ「装飾の文法」初版 1856年 ロンドン刊

建築家・室内装飾家であるオーウェン・ジョーンズが1856年に刊行した、装飾文様集成の初版本。100枚のクロモリトグラフ(多色石版画)による図版を収録しており、エジプト、アッシリア、ギリシャ等、非西歐圏の装飾文様を多く紹介している。

### ◆新規電子化コレクション

本学所蔵のコレクションから、22年度は以下の2点を電子化・公開しました。

●吾妻鏡 伏見版 中央図書館所蔵。52巻、51冊(巻45原欠)。

●竹取物語絵巻 文学部所蔵。3軸、箱入。

これまで図書館自身での電子化が困難であった巻物等の貴重資料のため21年度、撮影機材と撮影室を整備しました。22年度はこれらを活用し、撮影による電子化を開始しました。前述の「竹取物語絵巻」ほか、以下をはじめとする資料の電子化に取り組みました。順次、公開する予定です。

「都府楼図巻」「文正草子(奈良絵本)」「御曹司島渡り」「北野天神縁起絵」「酒呑童子絵詞」「江戸ヨリ長崎迄」など



吾妻鏡 伏見版

「日本古典籍画像データベース」からご覧いただけます。

[http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000002rare2](http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002rare2)

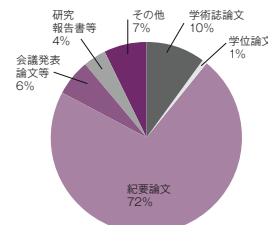
## 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

九州大学学術情報リポジトリ(以下QIR)は、学内研究成果の一次情報を収集・蓄積・保存・公開することを目的として、平成18年4月に公開をしました。学内刊行物をはじめ様々なコンテンツ収集とその整

備を行い着実に数を増やすとともに、利便性を高めるためにシステムの強化・開発・他システムとの連携も進めてきました。特に研究者情報システムとの連携は年々拡張しており、結びつきを深めています。

### ◆コンテンツの拡充

22年度は、GCOE等学内刊行物の新規登録や大学紀要類の登録を促進するとともに、プレスリリース発表論文への登録依頼も行ってきました。更に研究室や教員からの業績・論文の登録依頼が増加したこともあり、その結果、約2,560件のコンテンツ登録があり、累積件数は16,407件に達しました。



コンテンツ種類別内訳 (平成23年3月31日現在)

種類	件数
学術雑誌論文 (Journal Article)	1,566
学位論文 (Thesis or Dissertation)	120
紀要論文 (Departmental Bulletin Paper)	11,876
会議発表論文等 (Conference Paper)	949
研究報告書等 (Research Paper)	675
その他 (Others)	1,221

### ◆「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」プロジェクト始動

九州大学附属図書館では、国立情報学研究所が実施する平成22～24年「CSI委託事業(領域2)」に、研究開発室の馬場謙介准教授を筆頭として「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」と題したプロジェクトを応募し、採択されました。

このプロジェクトは機関リポジトリの研究者(=登録者)への負担の少ないセルフアーカイビングを実現すると同時に、リポジトリ担当者の

ワークフローを標準化し、一連のデポジットの流れを自動化し、リポジトリの登録を促進することを目的としています。九州大学を代表機関とし、一橋大学・筑波大学・三重大学と分担・連携を行いながら、3年計画でシステム群を開発し、成果を公開、検証する予定です。22年度はそのうちの一部である「教員問合せシステム・リポジトリ投稿システム」を開発しました。

# 研究開発室 Research & Development

22年度は、下記の事項についての研究開発活動を行いました。主な取り組みについて紹介します。

## ○新たな研究開発事項を設置

22年度より、「図書館マーケティングに関する研究開発」と「eリソース流通基盤に関する研究開発」の2つの事項を新たに設置しました。

## ○貴重文物講習会を継続して実施

「図書館職員の専門性育成に関する調査研究」の事項において、19年度より開始した「貴重文物講習会」を継続して実施しました。22年度は、21年度に引き続き、図書館資料にとどまらず、学内の標本や考古学資料など、九大の貴重文物を広く取り上げました。また、この講習会が基となり『九州大学百年の宝物』が刊行されたことを区切りとして、貴

重文物講習会は幕を閉じました。19年度からの参加者数は、計1,085名にのぼりました。

## ○附属図書館研究開発室成果発表会を開催

3月16日、附属図書館研究開発室成果発表会を開催しました。主にリポジトリ関連のシステムに関して室員が発表を行い、各発表の後には活発な意見交換が行われました。

\*本発表会の資料は、「九州大学学術情報リポジトリ(QIR)」で公開しています。

## 【プログラム】

伊東栄典(馬場謙介代理)：リポジトリ登録作業の半自動化

伊東栄典：リポジトリと研究者データベースの連携

廣川佐千男：リポジトリのアクセスログ解析

池田大輔：機関リポジトリの潜在需要と利用者動向の解析

南俊朗：データ解析による図書館マーケティングへのトライアル

## 平成22年度研究開発室研究開発事項

### 総括

研究開発の総括	川本 芳昭(附属図書館長、副学長) 吉田 素文(附属図書館副館長、医学研究院教授) 三輪 宗弘(附属図書館付設記録資料館長) 岡崎 敦(人文科学研究院准教授)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括するとともに、ライブラリーサイエンスに関する教育システムの調査・研究を行う。
---------	--	--

### I 将来計画に関する分野

統合移転後の新図書館計画に関する調査研究	堀 賀貴(人間環境学研究院教授)	新中央図書館建設に向け、必要とされる図書館機能及びそれらを実現するための施設設備・サービスに関する調査研究を行う。
海外の大学図書館に関する調査研究	松原 孝俊(韓国研究センター教授)	海外、特にアジア諸国の大学図書館との図書館間交流の推進についての調査研究を行う。
図書館職員の専門性育成に関する調査研究	竹村 則行(人文科学研究院教授) 田村 隆(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学講師)	九州大学が所蔵するコレクションをはじめとした資料群について、その由来や内容、価値についての調査研究をおこなうとともに、その過程のなかでサブジェクトライブラリアンとしての職員の専門性育成を図っていく。
学習・教育活動との連携に関する調査研究	吉田 素文(附属図書館副館長、医学研究院教授)	大学の学習・教育活動と連携した新たな教育支援サービスについての調査研究を行う。
図書館マーケティングに関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	利用状況の分析を基にした図書館マーケティングと、それを活用したサービス・利用環境の改善、新たなサービスの創出に関する研究開発を行う。

### II 電子図書館システムに関する分野

学術情報リポジトリに関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 荒木啓二郎(システム情報科学研究院教授) 竹田 正幸(システム情報科学研究院教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 廣川佐千男(情報基盤研究開発センター教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授)	学術情報リポジトリのコンテンツ拡充及び発信機能強化のため、機能の高度化、システム間連携、検索システム等に関する研究開発を行う。
教員・学生のコミュニティ及びコンテンツ形成に関する研究	池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上 創(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授)	学生や教員、または研究者同士のコミュニティを中心とした活発かつ効果的な教育研究のために、SNS(Social Networking Service)システムを基盤とした新機能の研究開発を行う。
RFIDによる図書館システムに関する研究	藤崎 清孝(システム情報科学研究院准教授) 井上 南(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館業務の効率化及び新たなサービスの創出のため、RFID(Radio Frequency Identification)を用いた図書館システムや利用状況の調査、及び無線通信技術に関する調査研究を行う。
eリソース流通基盤に関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館サービスと大学の利用者認証基盤との連携や電子コンテンツ流通に関する研究開発を行う。

### III コンテンツ形成・発信に関する分野

著作権問題に関する調査研究	黒澤 節男(附属図書館研究開発室特別研究員)	図書館サービス全般における著作権問題の解決を図るとともに、学術情報発信及び教材作成等における著作権問題について調査研究を行う。
貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する調査研究	今西裕一郎(附属図書館研究開発室特別研究員、国文学研究資料館長) 田村 隆(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学講師) Wolfgang Michel(附属図書館研究開発室特別研究員) 中里見 敬(言語文化研究院准教授)	本学が所蔵する貴重資料等の調査を行うとともに、そのデータベース作成におけるコンテンツ形成及びシステム・インターフェース構築に関する調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	三輪 宗弘(附属図書館付設記録資料館長) 岡崎 敦(人文科学研究院准教授) 栗山 平(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学・福岡女子大学非常勤講師)	本学が所蔵する資料の調査や、保存・管理態勢に関する調査研究を行う。

## きゅうとステップアップ研修

### ◆貴重文物講習会

九州大学が所蔵する貴重資料に関して認識を深めること、図書館職員の専門性を高めることを目的とし、教員、大学院生も対象として開催しました。

21年度に引き続き、22年度は下記の日程で実施しました。

- [第31回] 4/23 九州大学総合研究博物館の人類学・考古学資料  
講師:岩永省三 総合研究博物館教授
- [第32回] 5/21 標本歴史学:九州大学所蔵植物標本類  
講師:三島美佐子 総合研究博物館助教
- [第33回] 6/25 農学研究所蔵の貴重文物  
講師:佐藤 光 農学研究院教授
- [第34回] 7/30 農学研究所蔵の貴重文物II  
講師:多田内 修 農学研究院教授
- [第35回] 8/27 九州大学所蔵の漢籍について:叢書・類書を中心に  
講師:大淵貴之 高等教育開発推進センター非常勤講師
- [第12回](20年度休講分) 9/15 九大所蔵の貴重古医書について  
講師:Wolfgang Michel 九州大学名誉教授(言語文化研究院)

- [第36回] 9/28 図書館移転の経過と教訓:今後に向けて  
講師:堀之口廣教 附属図書館伊都地区図書課  
堀 優子 附属図書館図書館企画課企画係  
田中由紀子 附属図書館資料整備室
- [第37回] 10/22 中央図書館所蔵の江島茂逸・江藤正澄関係資料について  
講師:日比野利信 北九州市立自然史・歴史博物館学芸員
- [第38回] 11/26 九州大学が保有する世界一のカイココレクションについて  
講師:伴野 豊 農学研究院准教授
- [第39回] 12/17 九州大学キャンパスに眠る埋蔵文化財:元寇防塁を中心に  
講師:田尻義了 比較社会文化研究院学術研究員
- [第40回] 1/21 九州大学の化石研究と標本  
講師:松隈明彦 総合研究博物館教授
- [第41回] 2/18 九州大学所蔵の鉱山関連資料について  
講師:中西哲也 総合研究博物館准教授
- [第42回] 3/18 「九州大学百年の宝物」余話  
講師:山根泰志 附属図書館資料整備室図書目録係

\*講習会の資料は、「九州大学学術情報リポジトリ(QIR)」で公開しています。

### ◆くずし字勉強会

研究開発室特別研究員の田村隆先生を講師にお迎えし、変体仮名から頻出漢字の一部までの読み方を学習する、図書館職員を対象としたくずし字の入門編の勉強会を、前後期にそれぞれ全6回の日程で開

催しました。時間外の勉強会ながら30名を超える参加があり、職員の様子の高さがうかがえました。

## 平成22年度附属図書館研修報告会

職員間で情報を共有し、職員の見識を深めるとともに、九大図書館等における今後の取り組みに生かすことを目的に実施しました。

海外及び国内での研修・シンポジウム等に参加した職員9人がそれぞれ報告を行い、様々な研修の内容に触れる機会となりました。

【開催日】平成23年1月7日(火) 14:00-17:00

【場 所】中央図書館 4階視聴覚ホール

### 【プログラム】

- 井川友利子/工藤絵理子 「メリーランド大学、シモンズ大学訪問」
- 兵藤健志 「IFLA大会参加及び北欧の大学・公共図書館訪問調査」
- 片岡 真 「Shibbolethによる学術認証の可能性」
- 中尾康朗 「[大学図書館職員長期研修]を受講して」
- 羽賀真記子 「[西洋古典資料保存講習会]に参加して」
- 山根泰志 「京都大学漢籍担当職員講習会参加報告」
- 松石健祐/井川友利子/大村武史  
「新しい図書館にむけて ―図書館総合展および東京大学柏図書館、東京女子大学図書館見学の報告―」

## 平成22年度図書系職員初任者研修

新任図書館員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業計画等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

### 【プログラム】

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>5/18(火) 館長講話「新たな知や技術を学び続けるためには」</li> <li>九州大学附属図書館の概要と図書館業務全体の流れ</li> <li>九州大学附属図書館の将来構想</li> <li>九州大学統合移転と新図書館構想</li> <li>閲覧サービスの基本</li> <li>カウンター業務実習</li> <li>資料取扱の基本・図書の修復</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>5/19(水) 会計業務の概要</li> <li>文献検索実習「電子リソース実習 検索・入手から文献管理まで」</li> <li>電子リソース概要「これからのサービスを考える」</li> <li>QIR概要</li> <li>図書館業務システム概要</li> <li>ILL業務概要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>5/20(木) 中央図書館内見学</li> <li>図書受入業務概要</li> <li>図書目録業務概要</li> <li>雑誌業務概要</li> <li>ネットワークとセキュリティ</li> <li>研究開発室の概要/最近の研究内容</li> </ul> |
|--|---|---|

## 目録/ILLシステム地域講習会

国立情報学研究所と共催で、今年度は目録講習会図書コースとILL講習会を開催しました。

両講習会とも、九州地区の大学図書館職員16名が参加し、システムの運用方法等を熱心に学ぶとともに、同じ業務を担当する他大学の職

員との交流を深めました。

【開催日】ILL:平成22年6月25日

目録(図書):平成22年8月4日-6日

# 統計 = 利用サービス = Statistics

平成22(2010)年度

		中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	響鳴天空広場 Q-Commons	文系合同図書室 Human & Soc.Sci.Lib.	合 計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday	238	236	242	238	238	170	224	1,586
	土曜 Saturday	51	50	35	51	51	0	41	279
	日曜・祝日 Others	65	64	5	0	63	0	0	197
	合 計 Total	354	350	282	289	352	170	265	2,062
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties	25,893	6,531	1,720	9,133	9,824	0	3,821	56,922
	学 生 Students	344,389	147,990	28,130	36,528	293,342	100,072	26,790	977,241
	学外者 Others	38,129	6,543	3,253	5,618	5,376	0	344	59,263
	合 計 Total	408,411	161,064	33,103	51,279	308,542	100,072	30,955	1,093,426
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties	7,706	2,198	2,074	1,099	9,324	97	10,876	33,374
	学 生 Students	59,262	16,373	20,502	5,301	67,553	3,195	39,967	212,153
	学外者 Others	1,810	84	347	157	555	0	26	2,979
	合 計 Total	68,778	18,655	22,923	6,557	77,432	3,292	50,869	248,506
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties	4,860	1,421	1,416	878	5,917	82	5,602	20,176
	学 生 Students	38,695	12,052	11,947	4,576	45,941	2,769	19,306	135,286
	学外者 Others	1,556	72	245	127	404	0	18	2,422
	合 計 Total	45,111	13,545	13,608	5,581	52,262	2,851	24,926	157,884
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)	4,374	15,340	320	-	917	-	-	20,951
	学外からの受付(国外) Requests(International)	85	0	3	-	0	-	-	88
	小計 Subtotal	4,459	15,340	323	-	917	-	-	21,039
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)	892 (316)	719 (449)	72 (48)	109 (100)	489 (326)	- (-)	- (-)	2,281 (1,239)
	合 計 Total	5,351	16,059	395	109	1,406	-	-	23,320
	(うち謝絶) (cancel)	740	1,173	64	0	116	-	-	2,093
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)	2,976	3,326	204	240	1,567	-	-	8,313
	学外への依頼(国外) Received(International)	57	17	1	0	19	-	-	94
	合 計 Total	3,033	3,343	205	240	1,586	-	-	8,407
	(うち謝絶) (cancel)	555	649	48	0	98	-	-	1,350
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)	1,531	39	165	4	500	-	-	2,239
	学外からの受付(国外) Borrows(International)	0	0	5	-	0	-	-	5
	合 計 Total	1,531	39	170	4	500	-	-	2,244
	(うち謝絶) (cancel)	499	7	65	1	133	-	-	705
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)	982	28	122	24	555	-	-	1,711
	学外への依頼(国外) Loans(International)	0	0	0	0	0	-	-	0
	合 計 Total	982	28	122	24	555	-	-	1,711
(うち謝絶) (cancel)	155	2	18	1	98	-	-	274	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties	477	2,563	24	159	1,172	0	356	4,751
	学 生 Students	3,271	4,199	306	53	3,669	660	2,762	14,920
	学外者 Others	830	869	114	5	339	0	1,337	3,494
	合 計 Total	4,578	7,631	444	217	5,180	660	4,455	23,165
	所在調査 Holdings	638	3,117	63	27	1,497	14	3,564	8,920
	事項調査 Topics	149	260	21	165	435	6	223	1,259
	利用指導・その他 Instructions /Others	3,791	4,254	360	25	3,248	640	668	12,986
	合 計 Total	4,578	7,631	444	217	5,180	660	4,455	23,165

※文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む



## 電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal package

2010.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	223,074	Karger	8,422
American Institute of Physics (AIP)	35,779	Nature Site License	132,115
American Physical Society (APS)	35,045	ProQuest Research Library	8,192
CiNii*	183,434	ProQuest Health & Medical Complete	6,797
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	869,313	SpringerLink	110,924
Journals@Ovid	5,459	Wiley Online Library	215,655
		合計 Total	1,834,209

注) Taylor&francisは2010年にパッケージ購読を中止。

※国内誌

## 情報検索サービスの利用

Databases

2010.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions	
きゆうとサービス Cute services	きゆうとOPAC	九大所在情報	1,467,675	-	
	きゆうとLinQ	リンクリソルバ	550,515	-	
	きゆうとE-Journals	電子ジャーナル集	175,192	-	
	きゆうとMyLibrary	図書館ポータル	-	72,834	
	RefWorks	文献管理ツール	-	9,690	
文献情報 Abstracts & index databases	CiNii	全分野(国内)	787,477	99,262	
	Web of Science (Web of Knowledge)	全分野	320,736	63,778	
	Scopus	自然・社会科学	273,321	82,296	
	SciFinder	化学	107,708	34,493	
	医中誌Web	医学(国内)	112,544	36,544	
	JDreamII	自然科学	23,950	8,439	
	MEDLINE (Ovid)	医学	7,275	1,523	
	PsycINFO (Ovid)	心理学	4,105	1,285	
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	3,486	1,601	
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	2,662	647	
	EBM Reviews (Ovid)	医学	2,209	663	
事典類 References	ERIC (Ovid)	教育学	126	95	
	日国Online	(国内)	16,406	2,832	
	JapanKnowledge	(国内)	6,228	1,703	
	日本歴史地名大系	(国内)	2,119	611	
	Gale Virtual Reference Library		458	331	
	Marquis Who's Who on the Web		363	-	
新聞 Newspaper articles	理科学年表プレミアム	(国内)	-	539	
インパクトファクター Impact factor	新聞	聞蔵II ビジジュアル for Libraries	朝日新聞など	-	2,664
		Journal Citation Reports [JCR] (Web of Knowledge)	自然科学	22,514	25,014

## 学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成22(2010)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
中央図書館 Central Lib.			3,176	717	1,575	489	6,193	215	12,365
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.		4,161		203	509	104	2,090	105	7,172
医学図書館 Medical Lib.		932	185		166	79	695	23	2,080
芸術工学図書館 Design Lib.		1,679	511	173		202	1,308	69	3,942
筑紫図書館 Chikushi Lib.		546	221	93	190		760	10	1,820
伊都図書館 Ito Lib.		5,371	1,992	565	1,167	653		324	10,072
嚶鳴天空広場 Q-Commons		371	154	37	93	15	2,297		2,967
計 Total		13,060	6,239	1,788	3,700	1,542	13,343	746	40,418

# 統計 = 基盤サービス = Statistics

## ■ 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成22(2010)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	5,452	688	6,140	1,795	145	1,940
	理学研究院 Faculty of Sciences	216	312	528	380	378	758
	農学研究院 Faculty of Agriculture	490	1,034	1,524	1,532	775	2,307
	小計 Central Library Total	6,158	2,034	8,192	3,707	1,298	5,005
医学図書館	医学図書館 Medical Library	1,393	793	2,186	757	614	1,371
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	368	304	672	54	25	79
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	12	17	29
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	2	11	13	4	3	7
	生体医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	1	1	0	2	2
	病院(医・歯) University Hospital	54	80	134	93	96	189
	小計 Medical Library Total	1,817	1,189	3,006	920	757	1,677
芸術工学図書館	Design Library	2,621	427	3,048	575	128	703
筑紫図書館	筑紫図書館 Chikushi Library	582	192	774	251	60	311
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	28	38	66	15	0	15
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	15	8	23
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	1	19	20	3	1	4
	健康科学センター Institute of Health Science	42	5	47	26	13	39
	小計 Chikushi Library Total	653	254	907	310	82	392
伊都図書館	伊都図書館 Ito Library	6,808	613	7,421	548	55	603
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	2,372	812	3,184	173	75	248
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	1,029	509	1,538	22	57	79
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	270	3,030	3,300	28	449	477
	工学研究院 Faculty of Engineering	481	402	883	198	190	388
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	108	112	220	66	57	123
	小計 Ito Library Total	11,068	5,478	16,546	1,035	883	1,918
文系合同図書室	文学部 School of Letters	5,770	1,889	7,659	2,500	316	2,816
	教育学部 School of Education	614	241	855	708	102	810
	法学研究院 Faculty of Law	5,244	2,310	7,554	703	319	1,022
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,546	1,153	2,699	642	230	872
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	318	200	518	42	32	74
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	13,492	5,793	19,285	4,595	999	5,594
生体防御医学研究所(別府) Medical Institute of Bioregulation (Beppu)	0	0	0	89	24	113	
記録資料館 Manuscript Library	2,236	376	2,612	413	5	418	
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	0	0	0	2	2	4	
合計 Total		38,045	15,551	53,596	11,646	4,178	15,824

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。  
 (注2) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

## 資料費 Expenditures for library materials

平成22(2010)年度  
(単位:千円/thousand yen)

		図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	電子ジャーナル等 Electronic resources	その他 Others	資料費総額 Total
中央図書館	Central Library	68,381	55,794	465,274	2,216	591,665
医学図書館	Medical Library	19,261	19,098	8,094	1,909	48,362
芸術工学図書館	Design Library	11,986	7,439	164	2,240	21,829
筑紫図書館	Chikushi Library	16,039	4,563	0	174	20,776
伊都図書館	Ito Library	92,771	59,617	2,400	1,822	156,609
文系合同図書室	Humanities and Social Sciences Library	134,366	40,461	19,012	4,981	198,821
生体防衛医学研究所(別府)	Medical Institute of Bioregulation(Beppu)	0	332	0	0	332
記録資料館	Manuscript Library	1,971	135	0	153	2,259
情報基盤研究開発センター	Research Institute for Information Technology	637	21	3,526	0	4,184
合計	Total	345,412	187,460	498,469	13,495	1,044,837

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。

(注2) 電子ジャーナル等にはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

## 電子ジャーナル E-Journals

平成23(2011)年5月1日現在

### アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 55,183

### 契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成23(2011)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	40	Karger	75
American Institute of Physics (AIP)	12	LexisNexis: Academic & lexis.com	8,100
American Physical Society (APS)	8	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	21
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	25	Medical Online Library (MOL) *	842
Association for Computing Machinery: ACM Portal	935	Nature Publishing Group	32
Cambridge University Press	27	OECD iLibrary	38
Cell Press	7	Oxford University Press	185
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	ProQuest Research Library	4,692
CiNii *	418	ProQuest Health & Medical Complete	1,879
EBSCOhost: Business Source Complete	10,334	Science	1
EBSCOhost: EconLit with Full Text	529	SpringerLink	1,735
Elsevier ScienceDirect	1,807	Taylor & Francis	88
IEEE: ASPP Online, POP Online	272	UniBioPress *	6
IEICE *	8	University of Chicago Press	11
Institute of Physics (IOP)	12	Wiley Online Library	1,347
Institute of Pure and Applied Physics (IPAP) *	1	World Scientific Publishing	18
Journals@Ovid	5	その他	596
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	367		
合計	Total		34,475

\*国内誌

## 蔵書数 Holdings

平成23(2011)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)			
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	
中央図書館	584,588	361,406	945,994	18,174	11,858	30,032	
医学図書館	143,189	199,726	342,915	3,709	9,078	12,787	
芸術工学図書館	123,244	51,778	175,022	2,063	1,035	3,098	
筑紫図書館	64,783	78,711	143,494	1,518	1,196	2,714	
伊都図書館	488,968	447,099	936,067	8,701	8,285	16,986	
文系合同図書室	815,995	609,028	1,425,023	17,381	8,447	25,828	
生体防衛医学研究所(別府)	6,913	13,487	20,400	290	346	636	
記録資料館	53,486	4,290	57,776	1,658	55	1,713	
情報基盤研究開発センター	2,655	8,442	11,097	42	85	127	
合計	Total	2,283,821	1,773,967	4,057,788	53,536	40,385	93,921

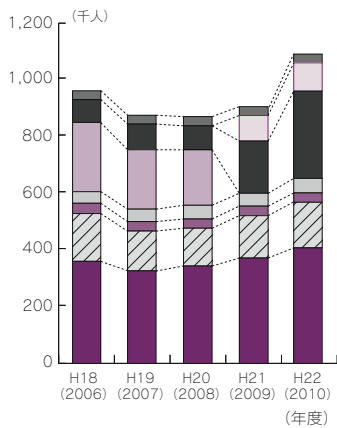
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

# 統計 = 推移と分析 = Statistics

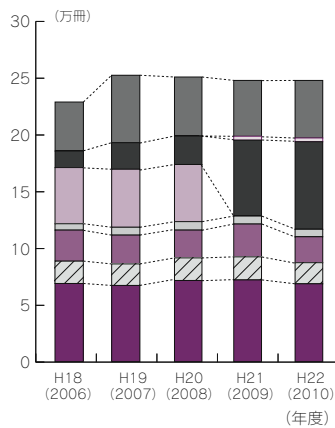
## ■ 利用サービスの推移



入館者数



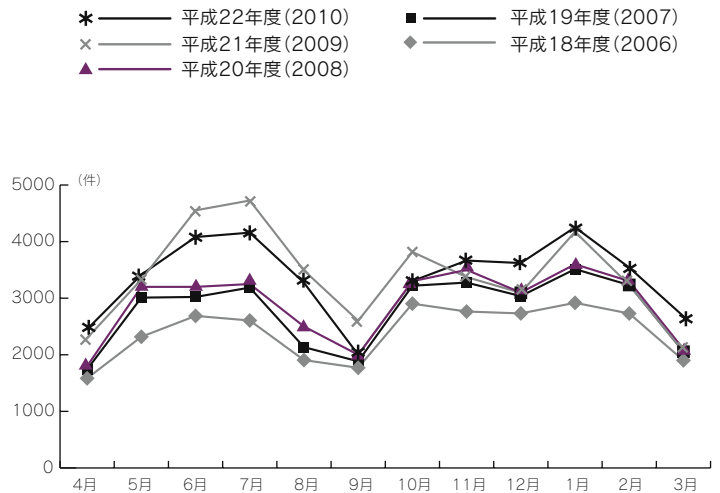
貸出冊数



全館を通して入館者数は前年度比20%を超える大幅な伸びとなり、総数についても年間延べ100万人を上回りました。中央図書館、医学図書館、筑紫図書館では安定的に入館者が増加しました。伊都図書館、Q-Commonsは大幅に増加しており、特に伊都図書館においては前年度比約1.7倍の入館者増となりました。また、グループ学習室等の利用件数が大幅に増えていることから、21年度に実施したコミュニケーション型学習のための機器整備なども増加要因の一つと考えられます。

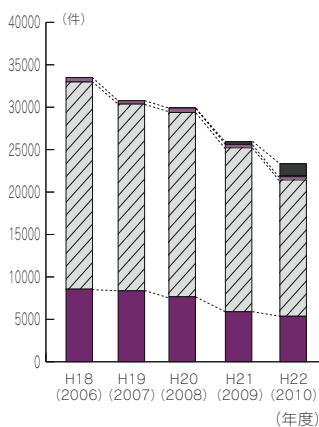
一方、貸出冊数についてはここ数年、全体として同じ水準を維持しています。中央図書館が前年度に比べて減っていますが、これは数理学関係の資料が伊都図書館へ移設されたことによる影響と考えられます。結果として伊都図書館では1万冊以上増加しており、伊都図書館の貸出冊数が中央図書館の貸出冊数を上回りました。入館者数、貸出冊数とも利用が次第に九州大学の新たなキャンパスである伊都地区にシフトしてきていることが伺えます。

学内配送サービス利用件数の推移

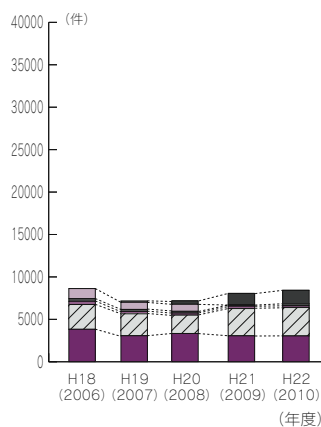


学内配送サービスは、年間を通して高い利用件数がありましたが、概ね下半期に利用が前年度の同月を上回りました。その結果、利用件数が急激に増加した前年度とほぼ同じ、40,000件を超える高い水準を維持しています。また、前年度に比べ全体として増減の変動が小さく、一年のうち4分の3の月で3,000件を越す利用がありました。利用者の図書取寄せや予約サービス利用に学内配送サービスが継続的、安定的に利用されていることがうかがえます。

文献複写件数【受付】



文献複写件数【依頼】

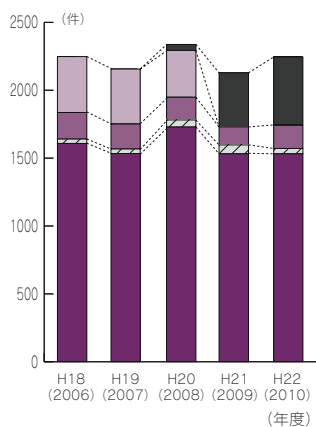


受付(学外機関への文献コピーの提供)は、21年度より受付を開始した伊都図書館のみ増加しましたが、全体的に減少しています。

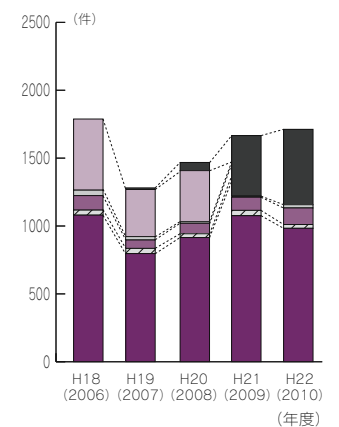
これは、各大学における電子ジャーナルのアクセス環境が向上したことや九州大学学術情報リポジトリによる紀要等の公開などが要因と考えられます。

依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)は、21年度より私費のサービスを開始した伊都図書館が約16%増加していますが、その他は大きな変化はありません。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

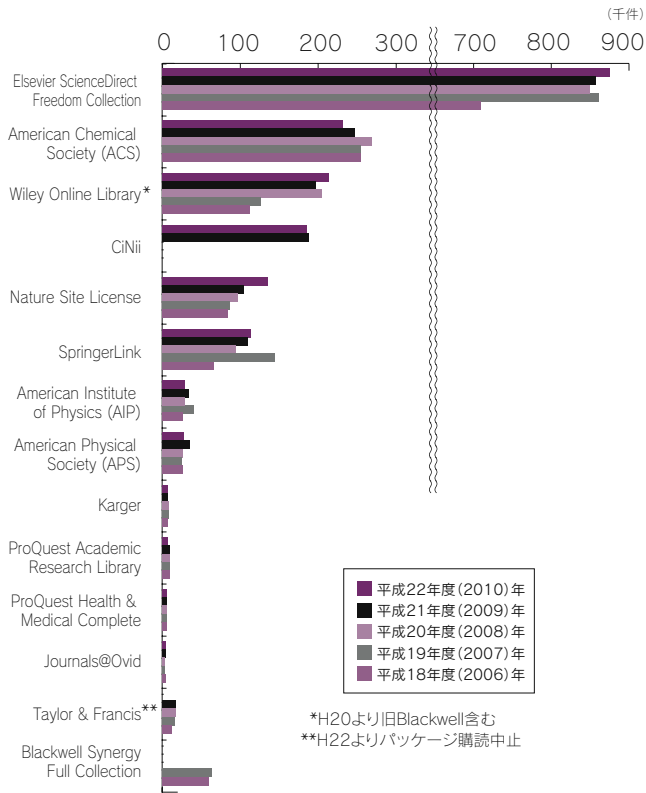


受付(学外機関への図書の貸出)、依頼(学外機関からの図書借受)ともに、前年度より若干の増加となりました。旧六本松図書館に代わり、受付、依頼ともに伊都図書館の件数の増加が顕著に表れています。

## 電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

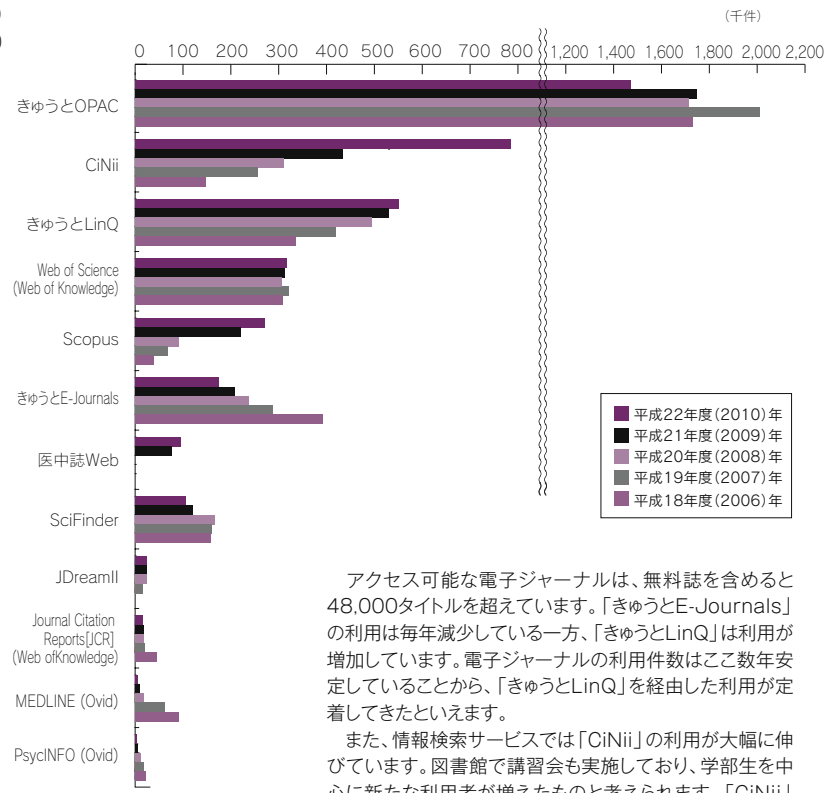
電子ジャーナルの利用

主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用

主要データベースの検索回数

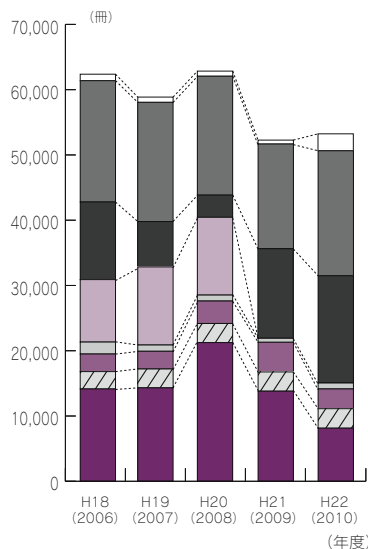


アクセス可能な電子ジャーナルは、無料誌を含めると48,000タイトルを超えています。「きゅうとE-Journals」の利用は毎年減少している一方、「きゅうとLinQ」は利用が増加しています。電子ジャーナルの利用件数はここ数年安定していることから、「きゅうとLinQ」を経由した利用が定着してきたといえます。

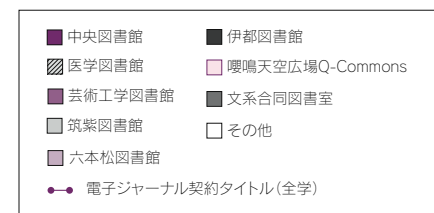
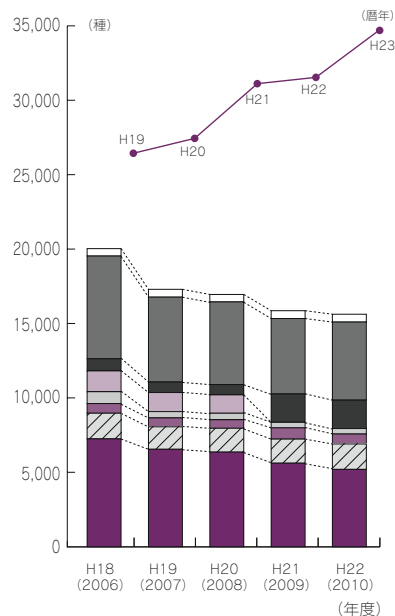
また、情報検索サービスでは「CiNii」の利用が大幅に伸びています。図書館で講習会も実施しており、学部生を中心に新たな利用者が増えたものと考えられます。「CiNii」は、電子ジャーナルの利用も主要パッケージ中4番目に多く、国内文献の需要の高さがうかがえます。

## 資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

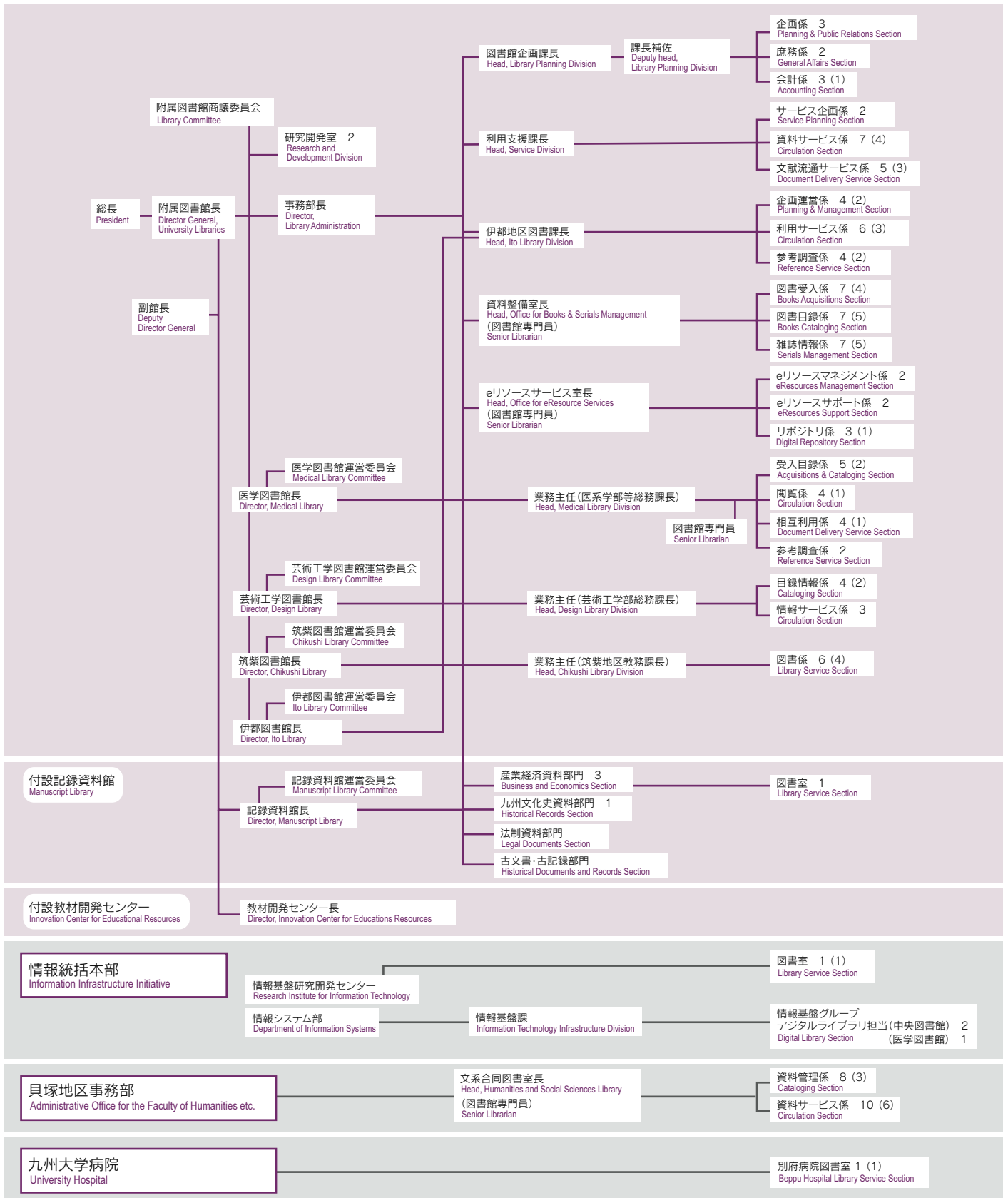


図書については、伊都図書館での資料の充実をはかるため予算配分の見直しをしたことにより、伊都図書館の受入数が増加し、中央図書館の受入数が減少しました。

雑誌については、電子ジャーナル契約数の増加に伴い、冊子体雑誌受入数の減少傾向が続いています。

# 附属図書館の組織 Organization

(平成23年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計	区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
教員数	1	3	0	2	6	職員数	1	3	1	4	25	91 (51)	125

※ 専任教員のみ。

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。( )内は事務補佐員で内数。

## 附属図書館長・副館長・分館長等

平成23年4月1日現在

附属図書館長	川本 芳昭	副学長	筑紫図書館長	林 徹夫	総合理工学研究院 教授
副館長	吉田 素文	医学研究院 教授	伊都図書館長	吉田 正章	数理学研究院 教授
医学図書館長	吉田 眞一	医学研究院 教授	記録資料館長	三輪 宗弘	記録資料館 教授
芸術工学図書館長	佐藤 優	芸術工学研究院 教授	事務部長	濱崎 修一	

## 附属図書館商議委員会

平成23年4月1日現在

### 委員長

川本 芳昭 副学長、附属図書館長

### 委員

吉田 素文	医学研究院 教授	副館長	森下 昌紀	数理学研究院 教授
吉田 眞一	医学研究院 教授	医学図書館長	岩城 徹	医学研究院 教授
佐藤 優	芸術工学研究院 教授	芸術工学図書館長	笹栗 俊之	〃
林 徹夫	総合理工学研究院 教授	筑紫図書館長	横山 武志	歯学研究院 教授
吉田 正章	数理学研究院 教授	伊都図書館長	山下 喜久	〃
三輪 宗弘	記録資料館 教授	記録資料館長	片山 勉	薬学研究院 教授
青柳 睦	情報基盤研究開発センター 教授	情報基盤研究開発センター長	植田 正	〃
吾郷 眞一	理事・副学長	留学生センター長	近藤 孝広	工学研究院 教授
若山 正人	マス・フォア・インダストリ研究所 教授	高等教育開発推進センター長	石橋 健二	〃
柴田 篤	人文科学研究院 教授		藤枝 守	芸術工学研究院 教授
竹村 則行	〃		源田 悦夫	〃
吉田 昌彦	比較社会文化研究院 教授		櫻井 幸一	システム情報科学研究院 教授
清水 靖久	〃		庄山 正仁	〃
関 一敏	人間環境学研究院 教授		小山 繁	総合理工学研究院 教授
堀 賀貴	〃		内野喜一郎	〃
土井 政和	法学研究院 教授		山下 昭二	農学研究院 教授
七戸 克彦	〃		南石 晃明	〃
稲富 信博	経済学研究院 教授		山崎 晶	生体防御医学研究所 教授
関 源太郎	〃		藤澤 彰英	応用力学研究所 教授
羽賀 賢二	言語文化研究院 教授		佐藤 治	先導物質化学研究所 教授
松村 瑞子	〃		落合 啓之	マス・フォア・インダストリ研究所 教授
中西 秀	理学研究院 教授		一宮 厚	健康科学センター 教授
佐野 弘好	〃		濱崎 修一	附属図書館事務部長
長田 博文	数理学研究院 教授			

## 所属する図書館関係団体と九州大学の役割

### 附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:91)  
 九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)  
 九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:78)  
 福岡県図書館協会 理事:館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)  
 福岡県・佐賀県大学図書館協議会(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

### 医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)  
 九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

# 人事異動 Personnel Reshuffle

(平成22年4月1日～23年3月31日)

## 学外へ転出

	異動後	異動前
4.1	益森 治巳	鳥取大学学術情報部長

## 中央図書館

	異動後	異動前
4.1	飯田 昇平	図書館企画課長
〃	古賀 幸成	利用支援課長
〃	江島香代子	(病院経理課長)
〃	佐本美恵子	企)課長補佐
〃	田中由紀子	図書館専門員 兼)資料整備室長・図書目録係長
〃	別府 妙子	e)eリソースマネジメント係長
〃	工藤絵理子	e)リポジトリ係
〃	大田 海	利)文獻流通サービス係
〃	城戸 弦太	資)図書受入係
〃	原賀可奈子	資)図書受入係
〃	法常 知子	資)雑誌情報係
〃	香川 朋子	e)eリソースマネジメント係
〃	遠藤 愛	e)リポジトリ係事務補佐員
〃	渡邊龍之助	資)雑誌情報係事務補佐員
5.1	古賀 京子	利)資料サービス係
〃	秋吉百合子	企)会計係事務補佐員
8.1	大屋 範恵	(理学部等事務部先端物質化学研究所) 企)会計係
〃	矢山 明子	企)会計係主任
9.30	田中 愛子	(退職)
〃	丸野 俊一	(退任)
10.1	川本 芳昭	図書館長
〃	藤原 愛子	資)雑誌情報係事務補佐員
11.13	今村 笑	(退職)
11.14	天野 美保	資)図書目録係事務補佐員
12.16	田坂 孝二	(退職)
1.1	吉田 陽子	利)資料サービス係事務補佐員
1.13	原田真理子	(育児休業)
1.16	井上 直子	資)雑誌情報係事務補佐員
〃	谷 美代子	資)図書目録係事務補佐員

## 医学図書館

	異動後	異動前
4.1	安永振一郎	図書館専門員
〃	小柳 貴俊	参考調査係長
〃	入江いつ子	相互利用係特定有期事務職員

## 芸術工学図書館

	異動後	異動前
4.1	久原 明美	目録情報係長
7.1	高木 宏美	情報サービス係事務補佐員
8.1	野田 達也	(芸術工学部総務課用度係長)
〃	秋山 勉	情報管理係長
10.6	惟永 和宏	(芸術工学部総務課用度係主任)
〃	高木 宏美	情報管理係事務補佐員
〃	三坂 雅子	(育児休業)
〃	山口 結香	情報サービス係

## 筑紫図書館

	異動後	異動前
4.1	林 徹夫	筑紫図書館長
〃	今林 安雄	図書係長

## 伊都図書館

	異動後	異動前
4.1	井ノ上俊哉	企画運営係長
〃	芦北 卓也	企画運営係
〃	宮岡 大輔	利用サービス係長 兼)参考調査係長
〃	梶原 瑠衣	利用サービス係
〃	鳥居 愛	参考調査係
6.1	土屋須磨子	企画運営係事務補佐員
6.30	吉開 新子	(退職)
7.31	吉武 啓子	(退職)
8.1	井上 恵利	利用サービス係事務補佐員
8.31	森 恵	(退職)
1.8	岡本 順子	(退職)
3.31	和田 清	(退任)

## 記録資料館 産業経済資料部門

	異動後	異動前
4.1	山口 亜林	主任
〃	西島 徹	特定有期事務職員
3.31	篠崎 美保	(退職)

## 情報システム部情報基盤課

	異動後	異動前
4.1	星子 奈美	デジタルライブラリ担当

## 文系合同資料室

	異動後	異動前
4.1	本園由美子	資料管理係
〃	佐方 小弓	資料管理係
〃	近藤 孝子	資料管理係事務補佐員
〃	穴見 一博	資料サービス係
〃	森谷優理子	資料サービス係事務補佐員
4.30	堤 順子	(退職)
5.16	平良 香	資料サービス係
5.17	阪口 心志	資料サービス係事務補佐員
10.21	平良 香	(休職)
1.1	野瀬 陽子	資料サービス係事務補佐員
3.31	尾上 五男	(定年退職)

企) 図書館企画課	芸) 芸術工学図書館
利) 利用支援課	筑) 筑紫図書館
資) 資料整備室	文) 文系合同図書室
e) eリソースサービス室	伊) 伊都図書館
医) 医学図書館	



出版物

◆ 附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2009/2010』(2010.5)  
 『九州大学附属図書館研究開発室年報2009/2010』(2010.8)  
 『きゅうとNEWSLETTER』  
 Vol.5, No.1(2010.4), Vol.5, No.2(2010.7),  
 Vol.5, No.3(2010.10), Vol.5, No.4(2011.1)

◆ 付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol.5』(2011.3)

◆ 付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.32』(2011.3)  
 『エネルギー史研究 No.26』(2011.3)

◆ 付設記録資料館九州文化史部門発行

『九州文化史研究所紀要』54号(2011.3)



貴重書の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
Hans Prinzhorn, Bildnerlei der Geisteskranken, Ein Beitrag zur Psychologie und Psychopathologie der Gestaltung	文系合同(文)	「新しい神話が始まる。古賀春江の全貌」展(H22.7.3~9.5) 「新しい神話が始まる。古賀春江の全貌」展(H22.9.18~11.23)	石橋美術館 神奈川県立近代美術館
都府楼図巻	中央図書館	開館記念特別展「大宰府—その栄華と軌跡—」(H22.11.21~H23.1.16)	九州歴史資料館
うつほ物語絵巻	中央図書館	新収資料展「物語そして歴史—平安から中世へ—」(H23.1.24~3.18)	国文学研究資料館
広開土王碑拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H22.4.1~23.3.31)	九州国立博物館

貴重書の出版物への掲載・TV等での放映

出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名	出版社/出版年
蜻蛉日記	中央図書館	「歴史読本」8月号	新人物往来社 2010.8
三国通覧図説	中央図書館	DVD養賢堂物語	NPO法人宮城教育社 2010.8
機巧図彙(桑木文庫) 首巻	中央図書館	「週刊江戸」31号	ティアゴステイニジャパン 2010.8
蒙古襲来絵詞	中央図書館	「旅する長崎」14号 「戦国武将データファイル」23号 イチから知りたい日本の神様 3	長崎文献社 2010.4 ティアゴステイニジャパン 2010.11 戎光祥出版 2011.1
日本山海名物図会	中央図書館	DVD「NHKきょうの料理100選」 「週刊江戸」41号	アーバンコネクションズ 2010.11 ティアゴステイニジャパン 2010.10
ケンペル 「廻国奇観」	医学図書館	ケンペルとシーボルト	山川出版社 2010.9
シーボルト NIPPON 踏絵	医学図書館	小学実力練成テキスト 社会6年	株式会社文理 2011.1
養生訓	医学図書館	直伝 和の極意 新養生訓	NHK出版 2010.10
かへる雁(富田文庫)他	文系合同(文)	HOKUSAI	Prestel 2010.11
久米平内剛力物語	文系合同(文)	図解雑学 菜根譚	ナツメ社 2010.10
北斎画(富田文庫)	文系合同(文)	「浮世絵芸術」160号	国際浮世絵学会 2010.7
御存商売物	文系合同(文)	春画:片手で読む江戸の絵	講談社 2010.7

TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組	放送局
日本山海名物図会	中央図書館	「世界一受けたい授業」(2010.6.5) 「逆流! シラベルトラベル」(2010.7.12) 「レテイス4」(2010.7.13) 「ミリオンダイス」(2010.9.2)	日本テレビ テレビ東京 テレビ東京 日本テレビ
蒙古襲来絵詞	中央図書館	「ガリレオチャンネル」(2010.5.15) 「世界ふしぎ発見!」(2010.9.4) 「和風総本家」(2011.2.17) 「ティービーブル」(2011.2.26) JR九州新幹線全線開通CM	東京MXテレビ TBS テレビ東京 NHK総合
長崎・出島港図	中央図書館	「大英博物館から見た幻の古浄瑠璃 東京見参!」(2011.1.3)	BS-TBS
十三行古活字版枕草子	中央図書館	「新型学問 はまる!ツゴ学」(2011.3.16)	日本テレビ
和漢古医書 痲瘡之図	医学図書館	「医療集積都市おかやまの未来像」(2010.7.25)	山陽放送
養生訓	医学図書館	「直伝! 和の極意 新養生訓」(2010.10.7)	NHK教育

# 図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	
H22 (2010) 4	18 アメリカ:国際図書館コンソーシアム連合(ICOLC)春季会合参加(～24日) 23 貴重文物講習会「九州大学総合研究博物館の人類学・考古学資料」	4 中国浙江大学学生 訪日交流団20名 見学			
5	10 開学記念行事 第51回附属図書館貴重文物展示 「桑木文庫に眠る星の世界」(～17日) 15 開学記念公開講演会「果てしない宇宙の理解を目指して」 18 図書館職員初任者研修(～20日) 21 貴重文物講習会「標本歴史学:九州大学所蔵植物標本類」 24 中央図書館図書資料選定委員会(第1回)	21 平成22年度外国雑 誌センター館会議 28 第81回日本医学図 書館協会総会・第1回 評議員会(～29日)		15 オープンキャンパス「九 州大学筑紫キャンパス の歴史散歩-昔も今も 学术交流の拠点-」展示 31 第1回筑紫図書館 運営委員会	
6	22 学術情報セミナー「図書館・情報サービスとユーザー」 25 貴重文物講習会「農学研究所蔵の貴重文物Ⅰ」 25 NII ILLシステム地域講習会				
7	4 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験 22 学生用図書選定委員会中央図書館分科会(第1回) 30 貴重文物講習会「農学研究所蔵の貴重文物Ⅱ」		6 中学生職場体験学 習(那珂中) (～8日)	15 第1回筑紫図書館図 書資料選定委員会	
8	4 NII 目録システム地域講習会(図書コース)(～6日) 5 スウェーデン・テンマーク:IFLA年次大会出席・北欧の大学図書館・公共図書館の訪問調査(～27日) 9 学生用図書選定委員会(第1回)(書面回議) 18 筑波大学インターンシップ受入(～31日) 27 貴重文物講習会「九州大学所蔵の漢籍について:叢書・類書を中心に」	3 平成22年度第1回 医学図書館運営委 員会	9 第1回芸術工学 図書館運営委員会		5 7
9	15 貴重文物講習会「九大所蔵の貴重古医書について」 28 貴重文物講習会「図書館移転の経過と教訓:今後に向けて」				
10	22 「知られざる北の国境「樺太と千島」移動展IN福岡」(～11月4日) 22 貴重文物講習会「中央図書館所蔵の江島茂造・江藤正澄関係資料 について」	15 第58回九州地区医 学図書館協議会総会 15 宮入慶之助記念館3 名宮入文庫見学	25 芸術工学図書館 セミナー「色彩」		1
11	1 訪問研究員(韓国)受け入れ延長(～23年4月30日) 26 貴重文物講習会「九州大学が保有する世界一のカイココレクションに ついて」	25 平成22年度第1回日 本医学図書館協会地 区会事務局連絡会議 26 第19回九州地区医 学図書館員セミナー			26
12	17 貴重文物講習会「九州大学キャンパスに眠る埋蔵文化財:元寇防塁を中心に」 17 国文学研究資料館との学術交流協定締結 18 ライブラリーサイエンス専攻設置記念シンポジウム「ライブラリーを科学する」 22 DRF/ShaRe地域ワークショップ(九州地区)				
H23 (2011) 1	5 国立女性教育会館所蔵図書のパッケージ貸出による展示開始 13 留学経験者による「留学相談デスク」開設(～2月3日) 21 貴重文物講習会「九州大学の化石研究と標本」				31
2	18 貴重文物講習会「九州大学所蔵の鉱山関連資料について」 25 「九州大学百年の宝物」発行				7
3	18 貴重文物講習会「『九州大学百年の宝物』余話」 23 韓国:ICTを活用した図書館サービスの実態、オープンアクセスの実 態及びILL/eDDSシステムの運用状況に関する調査(～27日)	16 平成22年度第2回 医学図書館運営委 員会		8 筑紫図書館運営委 員会(書面回議) 25 筑紫図書館運営委 員会(書面回議)	16

伊都図書館	文系合同図書室	記録資料館	全学会議	関係団体会議等への出席
				22 九州地区国立大学図書館協会総会(福岡ガーデンパレス) 23 九州地区大学図書館協議会総会(福岡ガーデンパレス)
	14 第1回文学部図書委員会		13 新中央図書館検討専門部会 17 電子ジャーナル等検討専門委員会(第1回) 31 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第1回)	20 国立大学図書館協会総務委員会・図書系職員採用試験委員会・国立大学図書館協会理事会(東京大学) 21 外国雑誌センター館会議(東京工業大学) 28 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(北九州市立大学)
	7 第2回文学部図書委員会 9 日経NEEDS講習会 21 第1回文系合同図書室運営委員会		2 研究開発室会議(第1回) 7 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第2回) 28 「九州大学百年の宝物」刊行委員会(第5回) 28 館長会議	18 国立大学図書館協会総会(札幌パークホテル) 19 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(札幌パークホテル)
	5 第1回経済研究室委員会	8 第16回記録資料館運営委員会	5 電子ジャーナル等検討専門委員会(第2回) 9 第203回附属図書館商議委員会 13 大型図書資料選定委員会(第1回) 26 「九州大学百年の宝物」刊行委員会(第6回)	
第1回伊都図書館運営委員会 オープンキャンパス 図書館開放	7 文系オープンキャンパス向け開室 19 第3回文学部図書委員会 25 第2回経済研究室委員会			25 国立大学図書館協会第2回学術情報流通改革検討特別委員会(東京大学)
			6 全学図書系係長会議 10 大型図書資料選定委員会(第2回) 29 「九州大学百年の宝物」刊行委員会(第7回) 30 大型図書資料選定委員会(第3回)	
伊都図書館学生用図書選定委員会(書面回議)			12 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第3回)	27 国立七大学附属図書館協議会/国立七大学附属図書館長会議・事務部課長会議(東京大学)
第1回伊都図書館館長候補者選考委員会(書面回議)	12 第3回経済研究室委員会		2 研究開発室会議(第2回) 17 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第4回)	10 国立大学図書館協会総務委員会・図書系専門試験委員会・国立大学図書館協会秋季理事会(京都大学) 17 福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会(福岡大学) 20 国立大学図書館協会シンポジウム(奈良女子大学) 29 九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課長)会議(九州大学)
	6 第4回文学部図書委員会 22 第4回経済研究室委員会		13 寄贈による古書・文書等評価委員会 16 「九州大学百年の宝物」刊行委員会(第8回)	2 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(九州工業大学)
第2回伊都図書館館長候補者選考委員会			11 大型図書資料選定委員会(第4回)(書面回議) 31 電子ジャーナル等検討専門委員会(第3回)	18 国立大学図書館協会シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して4」(東京大学) 19 国立七大学附属図書館長等臨時懇談会(東京大学)
第2回伊都図書館運営委員会(書面回議)				14 国立大学図書館協会第3回学術情報流通改革検討特別委員会(東京大学) 14 福岡県公共図書館等協議会職員研修会(久留米市立北野図書館)
第3回伊都図書館運営委員会(書面回議)	4 第2回文系合同図書室運営委員会 6 QBS導入教育ガイダンス 16 QBS博多サテライトキャンパス図書室開室	3 第17回記録資料館運営委員会	10 館長会議 10 第204回附属図書館商議委員会 23 新中央図書館検討専門部会	11 国立大学図書館協会臨時理事会・総務委員会(東京大学) 11 アジア情報関係機関懇談会(国立国会図書館関西館) 22 福岡市総合図書館運営審議会

平成23(2011)年5月発行

編集発行 九州大学附属図書館  
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY